

FUKUUCHI

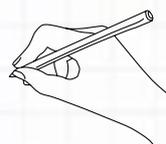
Public Relations

No.191
November

広報ふくち



授業が変わる。学校はもっと楽しくなる――



2021
11

特集 GIGA SCHOOL

タブレット端末を使用した上野小学校④と方城中学校⑤での授業。インターネットを活用した調べ学習により視野を広げ、子どもたちが意欲的に自分の考えや学びを深めていました。今回は、福智町立の全7校で一斉に始まった将来の可能性を広げる「ギガスクール」について特集をご紹介します。

特集 GIGA SCHOOL

It's new standard of school life!!

子どもたちが未来にはばたくため、ICT(情報通信技術)の力が必要とされています。ICTを使った新しい教育とは? 世界が広がる、学びを深める「ギガスクール」をご紹介します。



学びを止めない新しい学習スタイルがいよいよ始まる

福智町の町立学校で2学期から1人1台のタブレット端末を使用したICT教育が始まりました。ICT教育とは、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育のことです。2019年に文部科学省が発表した「GIGAスクール構想」を基に、全国の各自治体で環境整備が進められ、今年度から授業に導入されました。福智町ではGIGAスクール構想の基本方針として、①「予測困難なこれからの時代の中で社会にはばたく力、自立していく力を培う教育の推進」と、②「児童生徒の学びを導く教職員が、自信と安心感をもって授業を実施できる状態を目指す」ことを掲げ、児童生徒と教職員双方の支援を重点

GIGAスクール構想とは?

文部科学省が義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台端末と高速ネットワーク環境を整備する計画。これまでの教育実績と最先端ICT(情報通信技術)を融合し、将来必要となる技術やモラルなど児童生徒の一層の資質・能力の向上を目指します。



PICK UP

児童生徒が使用している端末はこちら

田川市郡で統一された端末。高速起動のChrome OSを搭載し、最新のOSとセキュア環境が保たれるほか、データはすべてGoogleのクラウドに安全に保持されます。



Acer Chromebook Spin 511 R752T-G2

に改革に取り組んでいます。デジタルを安全かつ効果的に活用するICT教育は、情報社会に生きる子どもたちが情報モラルを身に付け、自立し、考え生きる力を養うために大切な教育です。現在各学校ではICTを活用した新しい学習スタイルを構築するため、ICT教育担当者を中心に、さまざまな議論が重ねられています。課題はありますが、教職員の働き方や環境問題へのメリットも多く、何より子どもたちに新しい学びを提供できることが最大の魅力です。部活動や学校行事など、授業以外にもICTの活用により、児童生徒の創造性が一層輝くことが期待されます。



学校の授業が今、 どんどん変化しています



↑方城中・石打先生^②とICT教育担当の辻先生^④

ICTの活用で広がる学びの可能性。
福智の教育にどう生かしていくか。
各学校で話し合いが進んでいます。

先生たちも初めての試みのため、本格始動のために研修や会議を重ねてきました。方城中学校でその取り組みについて話を伺いました。方城中学校は、「何事もまずはやってみよう」という変化に前向きな学校の姿勢もあり、2学期が始まってすぐにタブレットの使用が日常的に取り入れられるようになりました。ICTの活用によ



↑各学校のICT教育担当者が集まり会議を開催

→番号管理されているタブレット。生徒は学校に来たら最初に自分のタブレットにログインすることからスタートします。



←その日の健康状態をアプリで入力します。生徒の体調がすぐに分かり、先生の安心感にもつながっています。

り、授業スタイルも大きく変化。板書や資料の配布・回収の時間が減ったことで、より効率的で一人ひとりに対するきめ細やかな授業が実現しました。また、生徒が今まで以上に授業に集中し、楽しみながら学習に励む姿に、ICT教育の効果が早くも表れ

毎朝10分のタブレット自習でタイピング速度が向上。



ているそうです。石打先生と辻先生は、「大切なのはタブレットの使用ではなく、生徒が自分の力で考え学ぶ力を身に付けていくこと」と語ります。今後は海外の学校や他校との交流、不登校の生徒へのケアなど、さまざまなICTの活用が検討されています。課題に対して迅速に対処しながら、ICT教育に日々取り組まれています。

体育館でも!



PICK UP 先生たちも積極的に活用を始めています

色んなことに
使える♪

WORKSHOP

授業の研修

金田義務教育学校・後期課程で実施された数学の授業。問題の回答を各自タブレットに入力します。先生は一言に回答を確認することができるため、生徒の進捗を確認しながら進めることができます。この日は校内の多くの教職員がICT教育の研修として授業に参加しました。



1.



- ①インターネット検索画面で児童生徒への説明も分かりやすく。
- ②先生の机間指導は一人ひとりの進捗状況に合わせて行います。
- ③課題の作成・回収が簡単に。印刷物も大幅に減少しました。

MEETING

会議



移動の時間も減って便利に



教育委員会
情報化支援員 居倉佑莉那さん

校長会や職員同士の会議もオンラインで実施。学校の情報もタイムリーに共有できるようになりました。

HOMWORK

課題



3.

2.



タブレットを活用した授業の風景



CLASSROOM



今までと違う新しい学習スタイル

入力する・撮る・奏でる —— 様々な使い方をご紹介します

伊方小学校 ▶ 朝学習



朝学習にタイピングの練習を取り入れています。ゲームのように正解するとレベルが上がっていくアプリケーションを使用しているため、一人ひとりが集中し楽しみながら学習しています。画面に「れ」と表示されたら、児童が「re」と打ち込んで覚えていきます。

上野小学校 ▶ プログラミング学習



3年生のプログラミング学習は、ミニロボットを目的地まで動かすという授業です。ミニロボットとタブレットを接続し、進む方向や距離など自分の考えをロボットにインプット。その後地図上に置いて動きを確認めます。難易度が高く、何度も調整。児童の表情も真剣です。

市場小学校 ▶ 理科



6年生の地層の実験では、サンプル管に砂と水を入れ、混ぜる前と混ぜた後の写真をタブレットで撮影して比較しました。写真を見て何がどう変わったかをグループで話し合います。教科書の写真ではなく実物を見ることで、結果にも説得力を感じることができます。

タブレットを使った授業ではみんなの意見も共有できて楽しいです。先生の説明も分かりやすく、保存ができるので授業の振り返りがしやすくなりましたよ



▶ 赤池中3年 浦田侑奈さん

赤池中学校 ▶ 道徳



3年生の道徳の授業は、あるエピソードを聞き、主人公がなぜそのような行動を取ったのかという設問に対し、自分の解釈をタブレットに入力していきます。入力した意見は全員で一斉に共有されるため、他の生徒の様々な意見を参考にすることができます。

金田義務教育学校 ▶ 総合学習



4年生の授業では、各自タブレットにゴーヤーの絵を描き、その絵をみんなで共有します。描いた後は校庭に出て実物を撮影し、描いた絵とどう違うか観察し記録を作ります。観察の前には友達を撮影し、カメラの練習もバッチリ。許可を取って撮影します。

弁城小学校 ▶ 音楽



4年生の音楽の授業ではデジタルピアノをみんなで演奏します。コロナ禍でレコーダーや鍵盤ハーモニカの使用が制限される中、デジタルピアノを使うことで、ピアノ以外にも木琴など様々な楽器の音色を奏でることができ、これまでとは違う新しい授業を楽しめます。

Q. 故障や破損・盗難時はどうしたらいいですか？

A. 学校にすぐに一報をお願いします。授業は学校配当の予備機で対応可能です。ただし、故意の破損と思われる場合や紛失時は、場合によって保護者の費用負担となることもあります。

Q. どんなサイトでも閲覧できますか？

A. 不適切なサイトにアクセスしにくいようフィルタリング制限をかけています。また、万一犯罪やいじめ等につながるアクセスを学校が把握した場合は、町教委で履歴をたどれることを児童生徒に周知しています。

Q. アプリケーションのダウンロードはできますか？

A. 教育委員会で一括管理しています。一部悪影響が考えられるものには制限をかけていますが、どう使うべきか、なぜ使ってはいけないかを学ぶことも情報教育の一環であり、利活用の重要性や危険性を学ぶことが重要です。



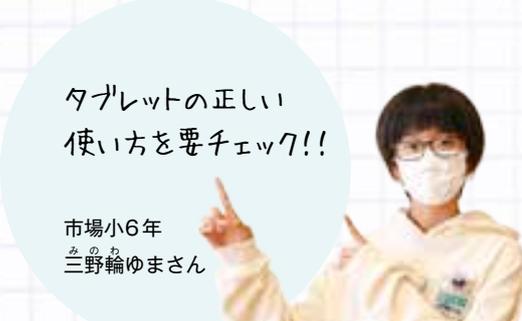
落とさないように
気を付けてね!!

弁城小6年
細川新太くん

Q & A

タブレットの使用
について気になる疑問
にお答えします。

question & answer



タブレットの正しい
使い方を要チェック!!

市場小6年
三野輪ゆまさん

Q. 使用による健康面への影響が心配です。

A. 学校共通の使用時間の制限は設けていませんが、30分使用したら目を休めるよう指導し、長時間の連続使用はしないよう推奨しています。将来的に持ち帰りとなった場合は、各ご家庭でも使用時間のルールを定めるようお願いいたします。

画面を見るときは
目を離して使ってね!!

上野小3年
原田麗雄くん

Q. カメラやビデオの撮影はできますか？

A. 学習や学校生活を豊かにする目的にのみ撮影できます。人を撮影するときは、許諾を取ることや、肖像権を意識した使用を指導しています。また盗撮行為は犯罪であることを発達段階に応じて指導しています。

INTERVIEW 福智町教育委員会



朝部英晴 教育長

「学びの保障」に向けて

コロナ禍でICT化が加速し、学校生活や学習スタイルは大きな転換を求められています。変化への対応は容易ではありませんが、既存の指導方法に上手くICTを取り入れ、新たな基盤を構築していく必要があります。まずは教育委員会として、教職員の研修や、学校同士をつなぐプラットフォームの作成、学習データの収集と共有により、ICT教育の均一化を図ります。また今後、各家庭においてもタブレットを使用できるよう準備を進めており、オンラインでの活用から開始する予定です。将来的にはオンラインでの活用を目指し、ご家庭の通信環境調査も予定していますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。